「セコマ」に学ぶ防災力

コンビニは災害時の拠点

いまやコンビニは地域の重要なインフラだ。セイコーマートは、2018年、北海道全域が停電するなかでも営業を続けた。なぜ、そんなことができたのか。

全国にあるコンビニエンスストアは、約5万8千店。交番・駐在所や郵便局などをはるかに上回る地域の「拠点」だ。公共料金の支払いや行政サービスの提供など、社会インフラの役割も担っている。そして近年、各社が取り組みの強化を進めるのが災害対策だ。2017年には、大手コンビニなど小売り7社が災害対策基本法に基づく指定公共機関にも指定されている。

そんなコンビニ業界の災害対策をリードしてきたのが、北海道内を中心に1176店舗（22年6月現在）を展開するセイコーマートだろう。災害が多発する出水期を前に、セイコーマートの災害対策について聞いた。

停電時の電源を確保

セイコーマートの災害対策が注目されたのは、18年9月6日に発生した胆振東部地震だった。この地震で、北海道では離島を除くほぼ全域の約295万戸が停電、都市機能がマヒした。札幌市の男性（35）が言う。

「オール電化住宅で、調理もできなかった。近所のセイコーマートが店を開けていて、作りたてのおにぎりも売っていたので何とかしのぐことができました」

胆振東部地震の際、セイコーマートは95％以上の店が営業を継続した。他のコンビニやスーパーが軒並み休業し、街灯や信号機も消えるなか、店には長蛇の列ができたという。プロパンガス式の店内調理器具を持っている店舗も多く、フル稼働でご飯を炊いて温かいおにぎりなども供給した。さらに、札幌市からの要請を受け、発災初日に約1万個のおにぎりを提供するなど物資支援も行った。セイコーマートでは当時から、充電式電源で使える会計端末を全店に配布、停電時の車からの電力確保もマニュアル化していた。セイコーマートを運営するセコマグループの丸谷智保会長は言う。

「セイコーマートは地域の固定客に支えられたコンビニです。本部として備えはしていましたが、従業員の自主的な判断で多くの店が営業を継続しました」

ただ、本当の困難はここからだった。発災当日は店にモノはある。しかし、商品を供給できなければ、営業を継続できない。

「飲み物もカップ麺も、メーカーの倉庫から出庫できない。急遽、関東からフェリーを出してもらって調達しました。ガソリンは優先給油証明書をすぐに要請。店舗から発注も受けられないから、企画部門がフル稼働で見積もって、プッシュ型で店に送り込みました」（丸谷会長）

物流の継続には、東日本大震災の経験が生きた。震災では、茨城県で展開する八十数店舗が被災。主要航路である大洗港が使えず、東北自動車道も寸断されるなかで物資を送った。

企業や自治体と連携

一方で、課題もある。18年当時、キャッシュレス決済は既にかなり一般的だったが、通信が途絶して使えなかった。その後、全店にモバイルルーターを導入したほか、22年にはNTTドコモ北海道支社と災害協定を結んだ。発災時、店舗敷地を移動基地局車の設置スペースとして提供、通信をキャッシュレス端末の利用に生かすほか、必要に応じて被災者に充電サービスなどを提供するという。

セイコーマートが次の災害に向け注力するのが、こうした他企業や自治体との連携だ。協定を結んだ企業・自治体は57件。建機レンタルの大手から発電機や仮設テントなど、北海道ガスから発電機用のガスなどの提供を受けられる。自治体との協定では避難所情報などの提供を受け、物資支援を迅速化する。

「災害時も安全を確保したうえで事業を継続するのは社会的な使命です。すべてを自社で投資できなくても、得意な企業と協力し、乗り切っていきます」（同）

編集部　川口　穣

NTTドコモ北海道支社との災害協定では、移動基地局車を店舗敷地内に設置、必要に応じて充電サービスなども提供することを定めた

セコマグループの丸谷智保会長。同社が災害対策に注力し始めたのは、2004年の台風がきっかけだったという

photo　編集部・川口　穣

深まる若者たちの孤独

願望との乖離 現実に悩む

若い世代を中心に孤独感を覚える人が増えている。SNSを利用していても結婚をしていても悩みは深い。政府も危機感はあるが、具体的な対策はこれからだ。

編集部　古田真梨子

埼玉県の会社員男性（32）は大学3年生の時、躁うつ病と診断された。2度の入院を経て、なんとか大学を卒業。症状が落ち着いた昨年、理解のある東京都内のメーカーに正社員として就職した。だが、今も薬は飲み続けている。

体調に異変が起きたきっかけは、ささいなことだった。進学校の高校から現役で大学に進学。それなりに自分に自信があったのに、入学後に入ったサークルで小さな壁を感じた。

「あれっ？と。ケンカをするとか、特別なできごとがあったわけではないけど、うまくはまらなかった」

自分の〝キャラ〟を変えようと無理にテンションを上げたり、それほど必要としていなかったのに彼女を作ってみたり。でも「何をやっても引かれた」。次第に周囲から人がいなくなり、ある日倒れた。

「さみしかったですね。家族が支えてくれたことと、サークルの中にずっと同じ態度で接してくれた先輩が1人いたことに救われました」

24時間、匿名のチャットで悩み相談を受け付けているNPO法人「あなたのいばしょ」（東京都）は今年2月、20歳以上の約3千人に対し、孤独調査を実施。孤独感がある人の割合は若い世代ほど高く、20代では42・7％に上った。また、孤独を感じている人は、うつ状態や不安障害を抱える傾向が約5倍という結果も出た。

同NPO理事長の大空幸星（こうき）さん（23）は言う。

「日本では長らく、孤独は高齢者の問題とされてきた。けれど、願望と現実が乖離（かい）していると感じ、深く悩む若い人はどんどん増えている」

それは、自殺者数にも表れている。

「あなたのいばしょ」に寄せられる相談は1日約1千件。より具体的なサポートのために、書き込まれたテキストの分析作業が進む

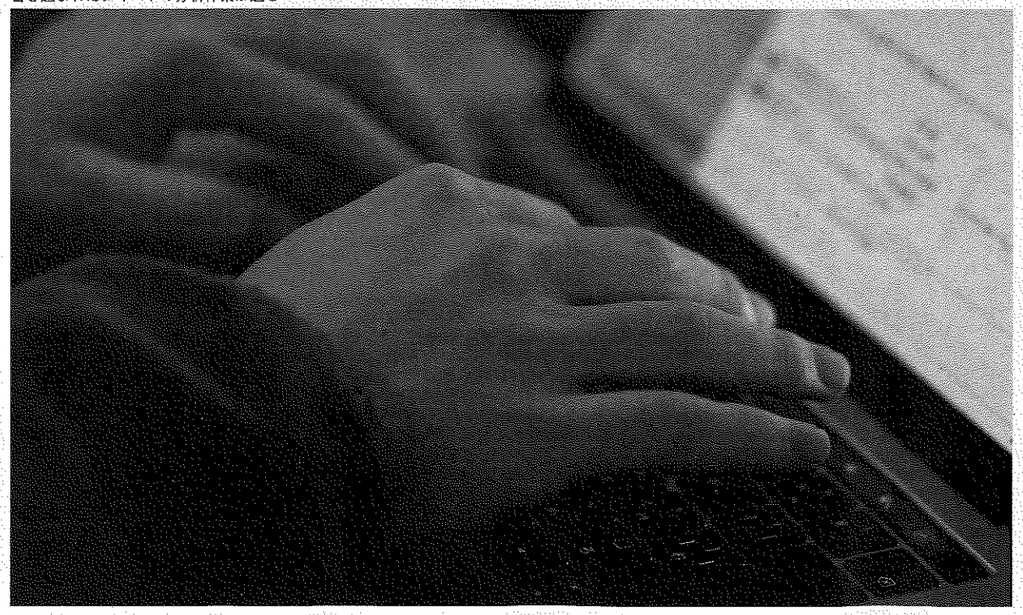


photo　朝日新聞社

厚生労働省が3月に公表した2021年の調査によると、自殺者の総数は前年より減少した一方で、20代は3・6%増えて2611人に。小中高生も20年は計499人と、いじめ自殺が社会問題になった1986年を上回って過去最多だった。

SNSの使用時間が長いと孤独を感じやすい

若い世代が孤独を抱える理由の一つには、日本の若者特有の自己肯定感の低さが挙げられるだろう。18年、内閣府が日本や欧米など7カ国の若者を対象に意識調査を実施。各国それぞれ約1千人が回答したところ、自分に満足しているかとの質問に「そう思う」と答えた人は米国が最多の57・9%、日本は10・4%で極端に低かった。

孤独は、ときに犯罪をも引き起こす。21年8月の夜、都内を走る小田急線の車内で、男女10人が刺されて重軽傷を負う事件があった。東京地検に殺人未遂の罪などで起訴された男（当時36）は、逮捕時に警視庁の調べに対して、こう供述したという。

「俺はなんて不幸な人生なんだと思っていた」

男は都内の高校を卒業後、中央大学に進むが中退、派遣社員などをしていた。『ルポ　若者ホームレス』などの著書がある大学教員の飯島裕子さんは、「頻発する無差別殺傷事件の背景には社会的孤立がある。若い頃は、いろいろな期待値が高く、自分が恵まれていないと感じやすい」

政府も危機感は強い。「孤独は社会問題」ととらえ、21年2月、英国に次いで世界で2例目という「孤独・孤立対策担当大臣」を設置した。まだ成果は見えないものの、初の実態調査を実施している。4月に公表された結果によると、孤独を感じる人は、派遣社員や失業中、世帯年収100万円未満といった低所得者層に多かった。

「経済的に困窮すると、たとえば若い人なら飲み会に行けない、高齢者ならば冠婚葬祭のご祝儀や香典が用意できないといったちょっとしたきっかけから、友達や親戚との付き合いが切れてしまうケースがある。それが孤独につながる」（飯島さん）

とはいえ、SNSが発達し、誰でもいつでも、どこからでもつながることができる時代である。なぜ、人はこれほどまでに孤独なのだろうか。『ひとり空間の都市論』などの著書がある南後由和・明治大学准教授（社会学）は、

「SNSの使用時間が長い人のほうが孤独を感じやすい。物理的にはスマホの前に1人でいるのに、SNSの空間上では群衆の中にいる。ふと我に返った時に自己内省的な感覚に陥ることが多い」

と分析。その結果として、

「浅く広い人間関係が漂ってしまう。物理空間でしか満たされない親密性があるということでしょう」

と話す。だが一方で、リアルな関係が密すぎるゆえの窮屈さが、孤独を深めてしまう場合もある。それが、この問題の難しいところだ。

結婚しても本音が言えず追いつめられていく

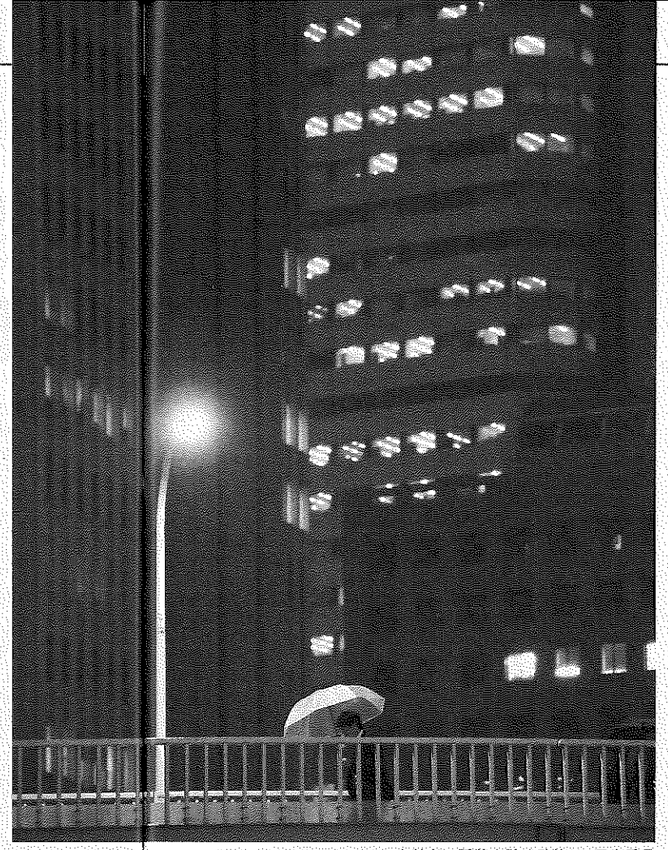
神奈川県の看護師の女性（33）は、コロナ禍で夫（32）が在宅勤務になった時、幼稚園のママ友たちとの何げない会話から、自尊心がぐらついたという。

女性の自宅は2DKで、夫は寝室で折り畳み式テーブルを広げて仕事をしている。だが、ママ友たちの家には、リビングと寝室の他にもうひと部屋あり、そこがワーキングスペースになっているというのだ。子ども同士が仲がよく、誘い合って公園に出かけたり、一緒に晩ご飯を食べたりしていたが、

「もともと気を使わなければならない相手だったけど、さらに本音が言えなくなってしまった。私の夫は100円単位まで家計に口を出し、私が働くことへの理解もない。結婚しても、子どもがいても孤独です。誰も自分のことをわかってくれないとすら思って追いつめられた」

誰もが向き合う「孤独」。ほどよい距離感はどこなのだろう。

「ひとりは寂しいけれど、ずっと誰かと関わるのは疲れる。そんな人に選ばれている」



高齢者の孤独を防ぐ政策は、民生委員を活用した取り組みなど多岐にわたる。いま、若者への支援が求められている

photo　写真映像部・東川哲也

と話すのは、「グローバルエージェンツ」（東京都渋谷区）の市川裕貴さん。同社は、独立した居室に加えて、入居者同士の交流用の豪華なラウンジがある「ソーシャルアパートメント」を運営している。06年に最初のアパートをオープンさせて以降、成長を続け、現在は首都圏に51棟。約3千人の入居者の平均年齢は30・6歳だ。

そんな中、あえて孤独を選択する人もいる。

「『孤独マインド』は、立派な武器になる」

と話すのは、コスメティック田中さん（25）。20年4月から「孤独マインド研究系YouTuber」として活動している。いまチャンネル登録者数は37・6万人。その多くが、現在進行形で悩みを抱えている高校生や、苦しい時期を乗り越えた若者たちだ。

「孤独は、周囲に振り回されずに人生を歩む力になると伝えている。だから、僕はいま友達を作る気がない」

ときっぱり。ブレない姿勢で「ぼっち大学生が就活で失敗しない方法」「ディズニーランドにひとりで行ってみた」などの動画を作成している。

そんな田中さんも将来を考えると、ふと心配になることがあるという。

「50歳でひとりは寂しそう。60歳でひとりは、かわいそうでコンテンツとしてかっこよさがなくなる。僕も世間の目を気にしているのかな。家族を持ったほうがさびしくはないかなとは思う」

りました。その結果、次第に孤独を感じる人が増えてきたのではないでしょうか。

孤独とは、自分が必要とされていないという感覚と、逆に自分が必要だと思うものがないという二つの感覚に起因します。

自分が愛し、愛されている関係は居心地が良い。行きつけの店の大将の料理が好き、この作家のコーヒーカップがお気に入り、という相互に人格を認め合う感覚がたくさん持てると孤独にならない。

一方で便利・速い・安いばかりを追求しているところに愛は生まれない。ましてや、なんでもAI化してしまうと人格性が消え、孤独感が高まっていくでしょう。

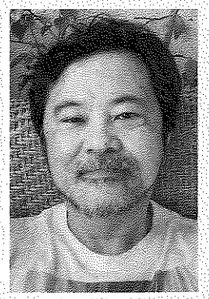
僕の仕事は「未来予測」です。個人化し孤独化する時代には、人格性と人が介在する暮らし方をあえて作り出すことが重要だと考えています。それが孤独解消の一助となるでしょう。

三浦展さんが語る『永続孤独社会』
AI化で孤独感が高まっていく

40年間、消費社会を研究してきました。「最も良かった時代はいつか」と聞かれたら、間違いなく1983年でしょう。東京ディズニーランドが開業した年で、当時、僕は25歳。給料はどんどん上がっていたので、職場で嫌なことがあっても、耐えることができた。頑張れば報われるから「パワハラ」にも耐えることができました。

あの頃は、欲しいものがたくさんありました。僕も82年にビデオデッキを15万円で買い、翌年にレーザーディスクプレーヤーをまた15万円で買いました。マーケティング誌の編集をしていましたが、書きたいテーマもいくらでもありました。

円がまだ安く、海外旅行は憧れだったけれど、日本は最強だと信じることができ、暮らしが充実していました。



みうら・あつし／1958年生まれ。マーケティング誌編集長、三菱総合研究所を経て、カルチャースタディーズ研究所設立

みんなが欲しいと思うものがあり、多くの人が孤独を感じずに生きることができた時代だったと思います。

変化を感じ始めたのは98年。欲望の低下が起き始め、次第に上流と下流に分化していくという予測を、2005年に著書『下流社会』にまとめました。野心がなく、意欲の低い若者の中から、下流化する人たちが増えていくと感じたからです。

なぜ「下流」は生まれたのか。その一因は欲しいものが何もない時代になってしまったからです。

100円ショップに行けば、たいていのものはそろってしまう。ファストフードや安価なレストラン、コンビニフードが増え、いつでもどこでも食べられる。見たい映画やドラマもいつでも見られる。便利で速くて安いものが増えた一方で、どうしても欲しいものはなくなりました。

結婚も恋愛もセックスも、してもしなくてもよくなり、欲望は個人化して、みんなが欲しいと思えるものがなくなった。

一方で便利・速い・安いばかりを追求しているところに愛は生まれない。ましてや、なんでもAI化してしまうと人格性が消え、孤独感が高まっていくでしょう。

僕の仕事は「未来予測」です。個人化し孤独化する時代には、人格性と人が介在する暮らし方をあえて作り出すことが重要だと考えています。それが孤独解消の一助となるでしょう。

『永続孤独社会　分断か、つながりか？』
三浦展さんが、コロナ禍で強まりをみせる孤独、格差、分断なども考察し、消費から見えてくる社会のありようと今後を探る。朝日新書／1012円（税込み）